

センター通信

石狩地域森林ふれあい推進センター

石狩地域森林ふれあい推進センターでは、札幌市近郊を中心に、森林作業の体験やボランティア団体が行う森林教室や森林での様々な活動の支援を行っております。

コロナ禍による影響

昨年6月には、当センターの活動フィールドである野幌森林公園に78年ぶりにヒグマが出没し、9月の捕獲まで、各種イベントが中止となりました。

一方、今年は新型コロナウイルスの影響により、残念ながら、夏までの各種イベントを中止せざるを得ない状況となりました。

しかし、現在は秋からの様々なイベント実施に向けて、国や道が示した方針に基づき新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた対応の準備をしております。

このような状況でありませんが、今回はこれまで、当センターが行ってきた取り組み等を紹介いたします。

札幌水源の森づくり

毎年夏に、札幌市の中心街において、市民を対象に、用意した苗木をカミネッ

ン（紙枠型の植樹ポット）に植栽してもらい、札幌の水を育む水源の森の大切さを、札幌市民にPRするイベントを平成16年から開催しております。

イベントで作られたカミネッコンは、定山溪国国有林に植樹し、下草刈り等の手入れをボランティア団体とともに行っており、過去の植樹箇所を含めて順調に育っています。



カミネッコンに苗木を植栽する市民

野幌森林づくり塾

森林づくりに関する知識の習得と森林づくり体験を通して、森林と人との関わり等についての理解を深め、将来的には自主的なボラン

ティア活動の展開につながることを期待し、毎年、参加者の一般公募を行っております。

今年度については、第一回目として外来種駆除を行う予定でしたが、コロナ禍の影響により中止となりました。

次回は九月に、枝打ち等人工林の森林整備の体験を行う予定です。

野幌森林再生プロジェクト

野幌の国国有林においては、平成16年9月の台風18号により被害を受けた森林について、百年前の原始性が感じられる自然林を目指した森林づくりである「野幌森林再生プロジェクト」が策定され、平成17年度からは石狩森林管理署がNPO団体や大学、企業等と協定を結び、風倒木等の被害跡地に植樹を行い、その後の保育、生長調査等を継続的に行っており、当センターもお手伝いしております。

今後、被害を受けた箇所については、皆さまの力もお借りしながら、早期の復興に努めてまいります。

森林教室等

当センターでは、札幌市の定山溪小・中学校の生徒の皆さんを対象に、毎年、国有林をフィールドとして、様々な調査や体験等のサポートを行っています。

また、地域の学校への出前授業等も行っており、総合的な学習も積極的に支援しております。



生徒が植樹した箇所の下草刈り体験の様子

最後に

以上、これまでの取組等について紹介しました。今年度もすでに半年が過ぎてしまいましたが、引き続き様々な場を通じて皆さんの森林に対する理解を深めるとともに、自然に親しんでいただけるよう、取組を進めてまいります。